

中津市の5つの基本施策

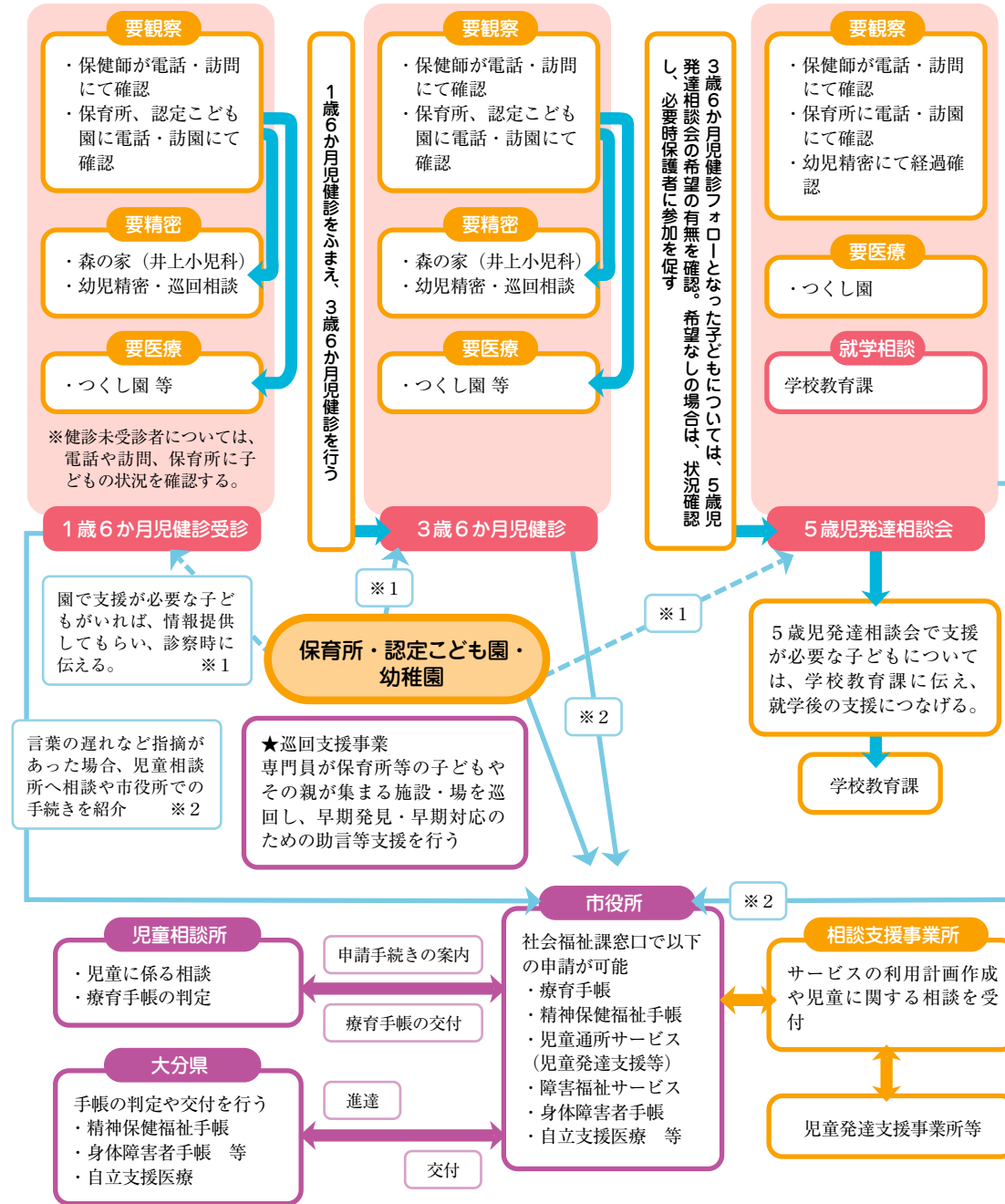
中津市では、乳幼児教育の充実を図るため、5つの基本施策を重点的に実施していきます。



中津市では、「遊び」を大切に生活や体験を通して、お互いの良さを認め合い、たくましく生きる力を育む乳幼児教育を推進します。その方向性や具体的な内容を、「中津市乳幼児教育振興プログラム」で示しています。本ダイジェスト版にてさらに広く理解していただき、子どもたちの健やかな成長に役立てていくことができれば幸いです。

支援が必要な子どもの早期発見・早期支援体制

中津市では、関係機関と関係課（「子育て支援課」「地域医療対策課」「社会福祉課」「学校教育課」等）が連携し、支援体制の連携・強化を図ります。



相談支援ファイル(あすなろ)

一人ひとりの発達に応じて、必要な支援が生涯にわたって継続しておこなわれ、本人の「自立」と「社会参加」に向けて役立つ資料になることを願い作成されています。

*ホームページからも詳しく見ることができます。
（「中津市 あすなろ相談支援」より）

中津市乳幼児教育振興プログラム

あそびのすすめ

ダイジェスト版



～天は人の上に人をつくらず
人の下に人をつくらずといへり～

平成30年3月

中津市・中津市教育委員会



やる気・げん気・自分の夢に向かう中津っ子

人間を一本の木に例えると、乳幼児期は生きていく上で重要な基礎となる「根」の部分になります。芽が出て、しっかりとした太い幹となり、それぞれの花や実をつけるたくましい木となるように、「根」である乳幼児期を大切に育てることが重要です。

中津市では、子どもにとって大切な力を育み、「やる気・げん気・自分の夢に向かう中津っ子」をめざした乳幼児教育を推進します。



幼児期に特徴的な発達として「非認知的能力」があります。「非認知的能力」とは、目標に向かって頑張る力、人と関わる力、感情をコントロールする力等です。一方、言語や算数に関する事等の学校の教科に直接関わる力を「認知的能力」と言います。これらは、子どもの育ちや学びの土台となり、互いに影響し合いながら成長していきます。

遊びの重要性

遊びには、成長や心身の発達にとって、重要な体験がたくさん含まれています。遊びを通して味わう楽しさや困難さは、自分で向かっていこうとするやる気を生みます。そして、「遊び」を通して人と関わることは、心や体が充実し、その後の将来において、自分の道を切り拓いていく確かな力となっていきます。



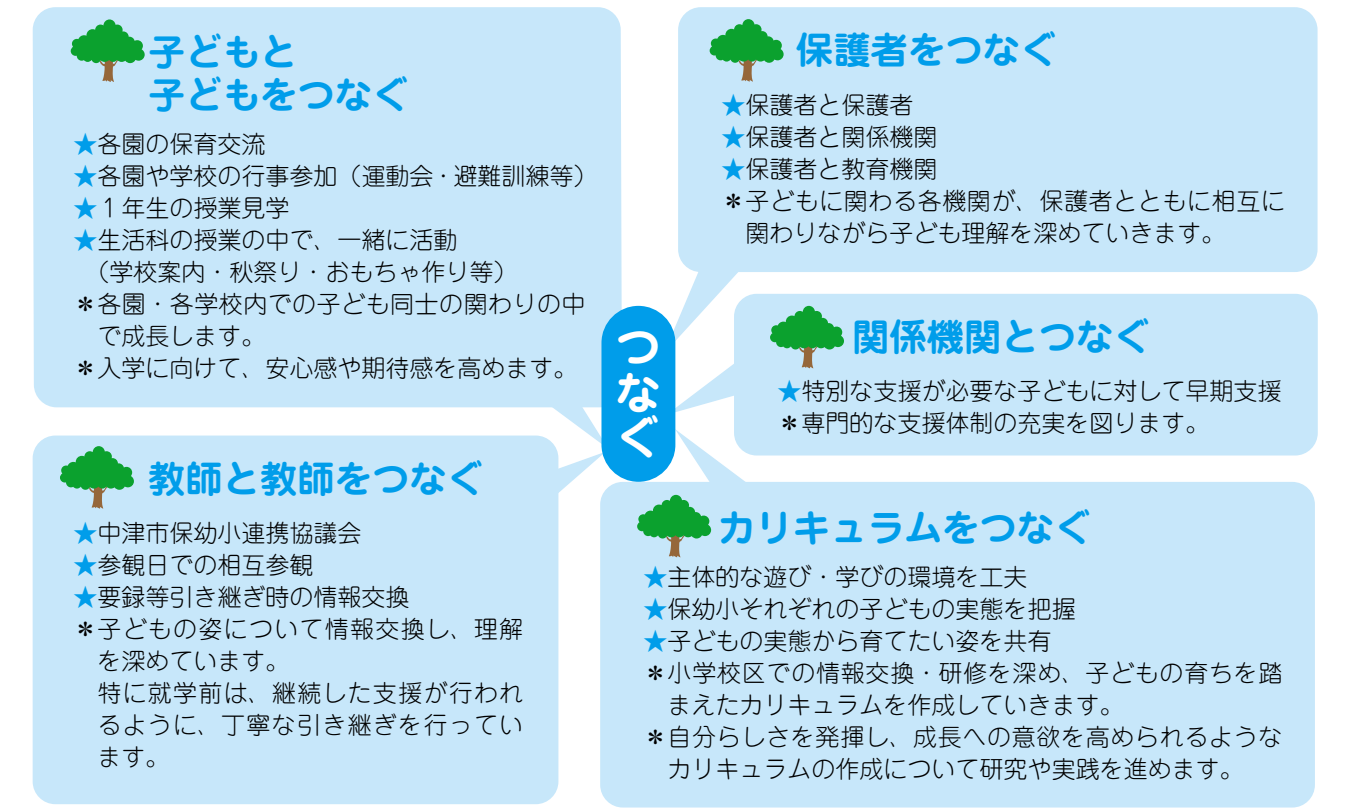
遊びを支える環境づくりが大切です。

子どもたちが、遊びに没頭し充実感を味わうことができるように、一人ひとりの思いや願いを理解し、人・もの・空間・時間・自然という環境が整えられています。

日々の遊びの中でくぐぐん育っています。

砂場遊びやお店屋さんごっこ、忍者ごっこ等、様々な遊びの中で、自分らしさを十分に発揮し、友達と関わりながらお互いに認め合う気持ちを育てていきます。

遊びや生活の中でたくましく育った子どもたちが、小学校以降も一人ひとりの力を発揮していくことができるように、支援や指導をつないでいくことが重要です。



接続期のイメージ 乳幼児期の遊びを通して身につけたことが、小学校以降の教育活動につながっていきます。

